

チームワークを大切に プロジェクトを成功へと導く

現在は、持続可能な航空燃料・SAFを製造するプラ ントの設計に携わっています。その中で、私が担当し ているのは、原料を載せた船が接岸する桟橋からプラ ントへと繋がる配管です。配管に流す液体の粘性など によって最適な配管の大きさはある程度決まっている ため、今は現場を調査し、既設の設備に干渉しない配 管ルートを設計しているところ。パイプラックを用いて設 備の上に配管を通す方法に加え、地下に配管を通す 方法も先輩から教わり、毎日のように新たな発見や学 びがあります。計画通りに工程が進行すればゆくゆく は現場で施工管理を手掛けることになるので、社内の 各設計エンジニアや協力会社の作業員とのチーム ワークを大切に、このプロジェクトを成功へと導きたい ですね。

My Vision



初めての現場での失敗と反省が その後の成長の糧になった

初めて施工管理を務めたのは、製油所の環境対策と して高さ約40mの排水処理設備を据付ける工事でした。 その中で私が担当した熱交換器やポンプの工事では 配管の溶接が中心。事前に耐熱シートで養生する必要 があったのですが、作業員との連携が上手くいかず、お 客様からのチェックが入るタイミングで養生が終わってい なかったこともありました。作業内容に関するお客様から の質問に答えられず、先輩や作業員に助けてもらったこ とも。この反省を活かし、次の現場では日々の作業内容 や所要時間はもちろん、個々の配管の用途も念入りに 予習。お客様から「何の配管ですか?」と聞かれ、「加熱 炉に入るスチームが通る配管です」とスムーズに答えら れたときには成長を感じました。

Profile



大学では流体力学の研究室に所属。飛行 機の羽にあたる部品に電極を貼り、流体の 流れによって制御し、可動部を減らし事故を 防ぐ研究に取り組む。企業研究を進めて いく中でプラント業界に興味を持った。キャ リアの選択肢の幅広さに惹かれ、千代田 エクスワンエンジニアリングに入社。

叶えたい未来

全体の工程を俯瞰する視点を養い、一歩先を読んで動きたい

プロジェクトエンジニアには、お客様と各エンジニアとの間に立って橋渡しをする役割もあります。 技術的な専門知識をしっかり学び、お客様の要望を噛み砕いて各エンジニアに伝えられるよ うになりたいです。これができるようになれば、現場の作業員への指示もより的確になるはず。 進行中のプロジェクトでは、年齢の近い先輩がPM*を務めています。全体の工程を俯瞰する 視点を養い、一歩先を読んだ動きで先輩を助けられるようになりたいですね。

プロジェクトエンジニア

忍 翔太郎 OSHI SHOTARO

2020年入社

お客様の要求を理解し、 最善の着地点を提案する

主に既存のプラントに納入されるコンプレッサースキッド の計装設計と、付帯するケーブルやジャンクションボッ クスの調達を行っています。コンプレッサースキッドは 5m~10m四方ほどの大きさ。コンプレッサーを中心に して周囲に配管があり、内部に計装品が詰まっています。 当社にはこのコンプレッサースキッドの標準仕様があり ますが、お客様は既存の設備に合わせた仕様を希望す るケースが多いんです。規格が標準から外れると、温度 計や圧力計、流量計といった計装品をオーダーメイドす る必要があり、納期が年単位で延びるリスクも。標準の 規格品を用いてお客様の要求をクリアする方法がないか 知恵を絞り、最善の着地点を提案することも私たちの 役割です。

My Vision



どんな仕事も人対人。 信頼関係が重要だと学んだ

化学を学んでいた私にとって、計装は未知の分野。設計 には欠かせないCADの操作方法も、一から先輩に教えて もらいました。スキルの習熟度に合わせた業務を任せても らえたからこそ、わからない専門用語があれば都度調べ て覚え、一歩ずつ着実に成長できたのだと思います。 また、コンプレッサースキッドの工事期間はおよそ1週 間と非常にタイトです。メーカー都合で資材の搬入が 遅れた場合、お客様と工期の調整をしなければなりま せん。ここで重要になるのが普段のコミュニケーション。 設計段階から緊密に連携が取れていれば、自ずと工期 の交渉がしやすくなります。どんな仕事も人対人の信頼 関係が最も重要なのだと理解できたとき、社会人として の成長を実感しました。

Profile

計装エンジニア

生命化学·物理化学専攻

2019年入社



寺田 知美 TERADA TOMOMI

大学1~3年で生命化学、4年で物理化 学を専攻。レーザー光で物質の特性を調 べる研究に取り組む。プラント建設現場を 見学し、スケールの大きなものづくりに惹か れるように。選考を受けた会社の中で最も 自分に合う社風だと確信したのが千代田 エクスワンエンジニアリングだった。

叶えたい未来

コンプレッサースキッド工事に留まらず、色々な現場を経験したい

計装は未知の分野。

だから面白い

現場での経験が浅く、不測の事態に自力で対処しきれないのが課題。資材不足や施工ミス が起きないようにするのが第一ですが、そういったトラブル時における先輩の対応をしっかり 見て、有効なノウハウとして蓄積していきたいと考えています。そしてゆくゆくは、自分自身で最 適な対処方法を生み出せるようになりたいです。今後はコンプレッサースキッド工事に留まら ず、色々な現場を経験する機会が増えたら嬉しいですね。

※プロジェクトマネージャー